

## 三重県中国ビジネスサポートデスク現地レポート

平成 27 年 8 月 26 日

上海デスク（上海納克名南企業管理諮詢有限公司）

### 2022 年冬季オリンピック in 北京

ご存じの通り、この度 2022 年の冬季オリンピックの北京開催が決定し、五輪史上初の夏冬同一都市での開催となります。

#### 実は開催地は二カ所に分かれています

今回の五輪招致については日本でも報道されていると思いますが、実は競技種目によりその開催地は大きく 2 カ所に分かれており、スケート等のインドア種目は北京市で、スキー・スノボのアルペン系種目は河北省の張家口（ちょうかこう）市という場所で実施されます。

この両都市は実は 150 km 以上離れており、日本で例えれば、スケート競技は東京体育館、アルペン競技は長野県の志賀高原スキー場で開催される様なものであり、このスキームを応用すれば東京でも冬季五輪は十分開催可能だと思うのは筆者だけでしょうか。

#### 2008 年北京五輪への期待と、2022 年北京五輪への期待

今回の五輪招致では膨張する開催経費の削減も重要課題とされたことから、北京では競技会場のほとんどを前回夏季五輪の際に建設・使用した施設を利用（水泳会場をカーリング会場に転用するなど）して実施されます。また、中国人選手がこれまでの冬季五輪では夏季ほど活躍していないこともあり、開催決定当日の北京の一般市民は（筆者が見る限り）ほとんど盛り上がりませんでした。

また、もう一方の開催地である張家口では、現地報道によれば、市民は「交通インフラが整備されて便利になる」「開発が進み不動産価格が上昇する」という類の歓迎と盛り上がりで紹介されていました。

今回の冬季北京五輪は過去の夏季北京五輪と異なり、北京では五輪開催による目に見えるインフラ整備はもう期待出来ない（それだけ現在の北京は都市として十分成熟している）ことや、近年は大型イベント開催の度に交通規制や工場等の操業規制が行われることも、盛り上がりを欠く理由だと思われます。

#### 日系企業に五輪の恩恵はあるのか？

中国政府は今回の五輪招致の目的として、ウインタースポーツの強化（夏季五輪と比較し中国人選手が活躍していない）と同時に、娯楽としてのウインタースポーツを発展させ、内需消費を拡大させたい思惑があります。

実際にこれに呼応するかの様に、日本のプリンスホテルは中国吉林省のスキー場にホ

テルをオープンさせており、日本流のサービスで差別化・高級化を図ろうとしています。またインバウンド観光の面でも、特に筆者はバックカントリースキー愛好家として、中国人に日本の雪山の魅力・スキー場の魅力を知ってもらい、インバウンド客で日本のスキー場が以前の様に活性化することを願います。